

厚木支部 気楽な散策会 #7 実施報告

「大山詣り」

令和7年2月7日

今回の散策会は恵方参りを兼ねて厚木の西方にある大山の阿夫利神社を詣りました。大山について、大山阿夫利神社HPでは「またの名を“あふり山””といひます。あふりの名は、常に雲や霧を生じ、雨を降らすことからこの名が起こったといわれ、標高は1251mで、関東平野にのぞんで突出している雄大な山容は、丹沢山塊東端の独立峰となっています。山野の幸をつかさどる水の神・山の神として、また、海上からは羅針盤をつとめる海洋の守り神、さらには、大漁の神として信仰をあつめると共に、庶民信仰の中心として、今日に及んでいます。」と説明があります。



大山阿夫利神社下社にて
左より、石崎(53M)、上武(45C)、飯島(46S)、岡村(45S)、
島田(50K)、倉林(44C)、梶原(修 58E)

小田急線伊勢原駅に集合し、バスで終点まで行きます。バス停からすぐに参道となりますが、ここが今回の最大の難所、362 段の石段が続く「こま参道」です。大山コマの製造・販売所、きやらぶき屋などの土産店・宿坊の間を抜けて石段を 15 分ほど登り続け、ケーブルカー駅で一息つきます。ケーブルカーを降りてからも 40 段ほどの石段を登り、大山阿夫利神社下社に到着しました。

神社の東側は視界が開けており、目の前に相模湾、江の島、三浦半島、房総半島、伊豆大島を見ることが出来ました。まさに絶景で、天候に恵まれたことに感謝です。その後、本殿を参拝し、本殿下の大山名水「神泉」の湧出口を見学して、本日の目的をひとつ達成しました。

神社からの下山時にはケーブルカーの途中駅から大山寺に寄りました。大山寺は弘法大師が三世住持を務めた古刹で、元は大山阿夫利神社下社の位置に大伽藍を構えていました。廃仏毀釈で廃寺の危機に陥りましたが、全国の信徒の力で現在の地に遷座されました。本尊の鐵不動明王と本堂が国の重要文化財に指定されています。特に本堂入口上段の彫刻は素晴らしく、一見の価値があります。

麓に戻り、もう一つの目的である大山豆腐の昼食です。大山は豆腐料理でも有名で、

今回はとうふ処小川屋さんのとうふ会席を頂きました。しっかりとした胡麻豆腐、湯葉のできる豆乳鍋、湯葉刺しなど手間をかけた料理が提供されました。主材料は豆腐ながら食べ応えがあり、すっかり満腹です。お酒も進み、参加者の近況報告などで盛り上がり、あっという間に終宴時間となりました。

寒い時期の散策会でしたが、天候にも恵まれて遠くまで眺望が効き、暖かい料理で体を温めることが出来ました。次回の散策会開催・参加を約束してお開きしました。



昼食会場にて

参加者：横浜支部 飯島和夫氏(46S)、島田光治氏(50K)

川崎支部 上武一孝氏(45C)

平塚支部 倉林弘行氏(44C)

厚木支部 石崎一嘉氏(53M)、岡村守之氏(45S)、梶原護(修 58E)